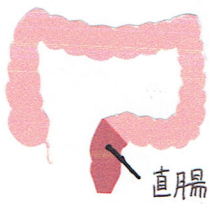
5月

潰瘍性大腸炎について知ろう

さわやかな5月の風が心地よく
感じられる季節となりました。
お天気の良い日には、運動がてら
お散歩するのもいいですね!!
今月は 潰瘍性大腸炎 について
紹介します。

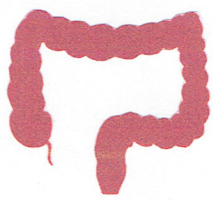
潰瘍性大腸炎とは?

大腸の粘膜にびらんや潰瘍ができる大腸の炎症性疾患です。
大腸の粘膜は直腸から始まり、上方向に向かって広がります。
その広がりにより、主に3つのタイプに大別されます。
男性では20~24歳、女性では25~29歳が発症のピークです。



直腸炎型

左側大腸炎型



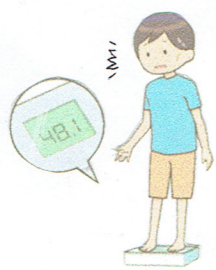
全大腸炎型

症状

下痢・血便
(代表的な症状)

発熱

腹痛



体重減少 など

ひがし薬局

診断は？

粘血・血便・下痢 などの症状から同じような症状を引き起こす病気と鑑別し、他の病気である可能性を除外します。

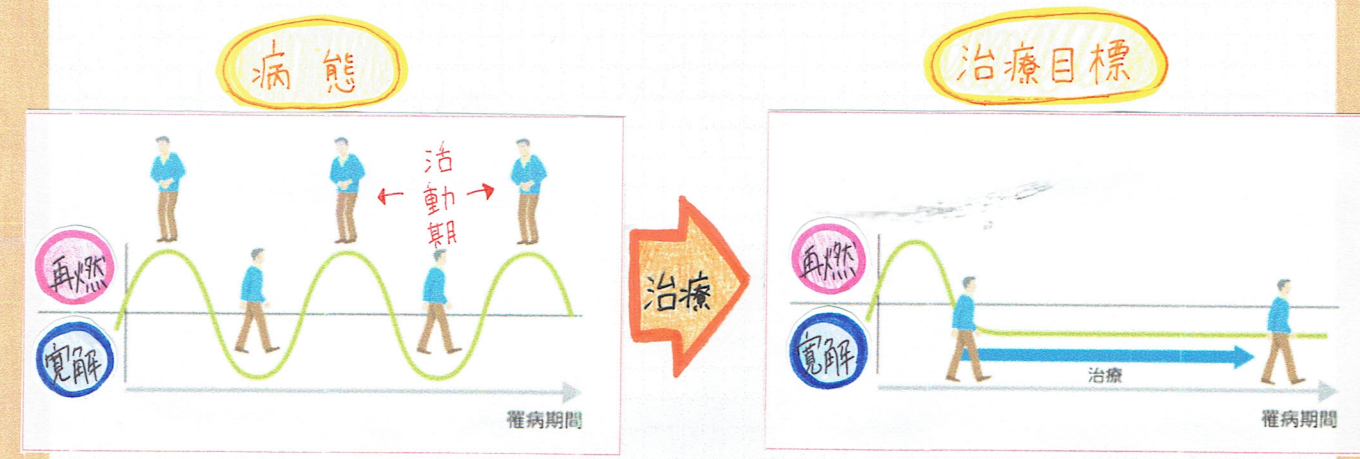
次に大腸の内視鏡検査により腸内の状態などから診断されます。

治療は？

初期治療 が何より重要です。原則的には薬による治療が行われます。

炎症抑制薬が基本となります。

しかし、重症の場合や薬物療法が効かない場合には手術が必要です。



炎症が起きて症状が強く現れる「活動期」と症状が治まっている「寛解期（かんがいき）」があります。

継続的な治療が必要になります！

医療費のこと

潰瘍性大腸炎は厚生労働省の難病対策事業の対象疾患に指定されているので、所定の手続きを行い、認定されると、公費助成を受けることができます。

詳細・申請は各市区町の保健所等にご相談ください。

ひがし薬局